

出席予定者： 学校評価委員 相河 光伸 様・岡江 真一 様・本林 久美 様・北原 宏樹 様
 学校関係者 青山理事長・清水学校長・百瀬副校長 以上 7名

- 次第： 1) 理事長挨拶 4) その他
 2) 学校評価概要説明、質疑、意見 5) 学校長挨拶
 3) 学習成果概要説明、質疑、意見

上記開催予定も、新型コロナの影響により会議は開催せず、文書でやりとりをし、下記評価表にまとめた。

評価項目	自己評価：4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切		適正度 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切	
	2019年度 自己評価		学校関係者評価結果	
	自己評価	概要	適正度	ご意見
1 教育理念目標	3	<p>現状</p> <p>本年度において今までの学校理念、目標等について職員全員で見直しを行い、内容を改善し全員でその結果を共有した。2021年から始まる介護福祉学科の新カリキュラムに向け取り組み始めた。</p>	3	<p>教育理念は学校の看板なので、時代に即したカリキュラムを取り込みや画工の特色など周知（情報公開）は、学生を募集するうえで大変有効なので力を入れていただきたい。</p>
		<p>改善策</p> <p>改善内容は年初に配布する「学生の手引き」で学生周知を図ること、及び入学式の午後に行う新入生保護者説明会で周知を図っていく。また、在校生の保護者等には文書で周知を図っていききたい。2021年4月から新しい教育目標、シラバスを情報公開する。</p>		
2 学校運営	3	<p>現状</p> <p>教育活動に関する情報公開はホームページを通じて適正に行われていると判断する。運営方針、運営結果等における文書化は不十分である。</p>	3	<p>運営結果と今後の課題を含め、文書化したものを教職員で共有し意識することが重要と思います。運営方針・結果については、ぜひ検討機会を設けPDCAに沿って点検してみてはいかがでしょうか。</p>
		<p>改善策</p> <p>運営方針、運営結果について、年度、年初に検討機会を設け、その結果を文書化していきたい。</p>		
3 教育活動	3	<p>現状</p> <p>学生、卒業生、保護者に対するアンケート体制は不足している。カリキュラムについては、定期的に検討を重ね成果も出ていると考える。</p>	3	<p>評価の手段として「参観日」や「評価委員会の授業聴講」も検討願いたい。学生を預けている以上、保護者に向けての情報発信は大切なので、アンケートで保護者の声を聞いたりカリキュラムの検討等は必要だと思います。</p>
		<p>改善策</p> <p>内容を検討し、学生向け、保護者向けアンケートを実施したり、外部評価の導入も検討していきたい。専門分野の教職員の確保をしていく。</p>		
4 学修成果	3	<p>現状</p> <p>両学科とも、高資格の受験学習を通じて、学生の学習力の向上、学習習慣の育成を図ることができている。社会的活動の奨励、その評価体制等については不足感がある。</p>	3	<p>就職現場では、知識や資格も重要ですが、医療や福祉で大切な人と人のコミュニケーションも要素として評価を検討していただければと思います。卒業生が（優秀で）実績を積み上げていけば、あそこの学生なら大丈夫というように企業とも就職上のパイプができるので、卒業生の動向（追跡調査）は重要だと思います。</p>
		<p>改善策</p> <p>両学科のマインド、倫理教育を通じ、その実践の場として社会的な活動を促すとともに、その評価体制を作っていきたい。卒業生に対しての追跡調査、企業とのパイプを太くすることで必要なカリキュラムが見え、体制を整えることができる。</p>		
5 学生支援	3	<p>現状</p> <p>就職率及び関連分野への就職率はほぼ100%を維持できている。学生の志向等の変化に伴う、健康、環境等への支援の必要性を感じるがその体制づくりは遅れていると考える。</p>	3	<p>健康管理を含め、今回の新型コロナウイルスのようなパンデミックにも対応できるマニュアル等の整備も必要かと思います。資格取得に向けた体制を強化していただきたい。卒業生にスポット的抗議・指導をしていただくのも良いと思います。例えばストレスを溜めずに働くにはどうするか等、卒業生自身の体験を元に抗議すれば学生もイメージがしやすいと思います。</p>
		<p>改善策</p> <p>両学科とも健康管理は重要度の高い事柄であるので、日ごろの学校生活の中で定期的な指導を心掛けるばかりでなく、その道のプロなどによるスポット的な講義、指導なども取り入れていきたい。</p>		

6 教育環境	2	現状	年度末等のタイミングを利用しての点検、検討はできていると考えるが、検討頻度を増やす必要もあると考える。	3	学生の志向として、施設や設備の充実は重要視される要素とも思います。 学生に必要な設備の充実は学生のやる気にもつながるので、何が必要なのか充分検討し活かしてほしい。 災害や不審者の侵入等の危機管理について、学生ではあるが「避難させる」側の視点が大切だと思いますので、実習先で危機管理についても学んでいただけたらよいと考えます。
		改善策	毎週行う教務会の議題としても取り上げていきたい。		
7 学生の受入れ募集	3	現状	介護系の学生募集が全国的に低迷している中で、当校においても同様の事象となった。	3	ホームページを拝見しましたが、きれいで見やすく、素晴らしいと思いました。 法人が一体となって、宣伝効果のある（インパクトのある）動画広告を、学生のセンスも取り込んでSNSで配信はいかがでしょうか。 介護職員の処遇も改善されてきているのでその辺のPRや、卒業生の活動状況（職場での働き方）などを踏まえ、学校への積極的なアプローチをしてほしい。 ホームページを閲覧しましたが、奨学金、特待生、教育ローンのことなどが分かりやすく掲載されていて良いと思いました。
		改善策	180度転換できるような画期的な方法は中々ないのが現状と考える。地道な募集活動を継続していきたい。		
8 財務	3	現状	数年前からの募集低迷が、収支的不安定に影響している。	3	学生の募集に尽きると思います。
		改善策	両学科だけでなく、学校全体の事業構成についても検討し、全体的に改善を図っていきたい。		
9 法令等の遵守	2	現状	一部の文書化作業が遅れている。	3	教職員の目標管理と職務評価について明文化し、それぞれの「気付き」と「改善」を意識させることも大切だと思います。
		改善策	文書化することにより課題等も明らかにされると思うので、順次文書化を進めていきたい。		
10 社会貢献地域貢献	3	現状	公共職業訓練等の受託は積極的に進めているが、地域に対する公開講座等は遅れている。	3	社会貢献や地域貢献の活動を、学生募集や宣伝につなげられれば良いと思います。 地域貢献活動は、地域へのPRともなるので、積極的に行動してほしい。
		改善策	地域に対する公開講座を進めていく中で、学生の参加も図り、学生ボランティア活動等を奨励していきたい。		
11 国際交流	3	現状	就職先や日本語学校との連携の中で、適切な体制を構築しつつある。	3	対応に苦慮されることも多いと思いますが、この領域を発展させて、ひとつの目玉にできれば、広報的なインパクトにもなると思います。 今後看護職への留学生の受入れはますます進むと思われるので、受入れから就職後のフォローまでの体制づくりを早急に築いてください。 留学生が卒業後に現場でどのような困難があった、それに対してどのようなフォローをしたのかを次年度の委員会等で教えていただけるとありがたいです。 留学生の育成に尽力いただき、ありがとうございました。今後重要な部分になってくると思います。
		改善策	本年度で初の介護福祉学科留学生の卒業生を排出するので、就職先と連携し適正な就職フォローを行い、介護現場に定着できるようにしていきたい。		